

2026年度  
NPO法人 ネットワーク・フェニックス  
活動計画書



<http://npo-phoenix.jp>

2026年4月1日～2027年3月31日  
(令和8年) (令和9年)

## 1. 設立趣旨・目的

この法人は、ふるさと長岡が魅力ある街となり、子どもたちが誇りを持って育っていきけるような様々な活動を行い、全国へ向け発信することによって、新潟県全体の経済を活気付け、新しい長岡のブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とする。

訪れる人にとって魅力的な街であること  
それは、子どもたちが誇りをもって暮らせる街  
そして、創り出せるのは唯一我々の想いから・・・

## 2. 本年度活動方針

### 『節目を越えて更なる進化を目指すフェニックス』

2005年、新潟県中越大震災からの復興を願い、長岡の空に初めて復興のシンボル「フェニックス」が舞い上がりました、昨年、初めての打ち上げから20周年の節目を無事終えることができました。今年度もその歩みを止める事無く、さらに強く、これからの次世代にフェニックスの思いをつないで参ります。我々NPO法人ネットワーク・フェニックスは前項にある不変の目標である設立趣旨を基本として、当法人の3つの柱の事業である

#### 【長岡花火発信事業】・【花火打上支援事業】・【プロジェクト事業】

についてこれからも存続・発展を目指し、あらゆる環境変化にも対応し活動して参ります。

昨年は、フェニックス花火20周年の節目に、精力的に活動して参りました。継続して実施している啓蒙活動も、学習から体験を通じてより深く子どもたちの記憶に残る活動に進化を遂げました。また20周年の節目として、今までご尽力頂いた様々な方々への感謝を伝え、これからの次世代に伝える活動として、我々が主催した事業「フェニックス感謝祭」「フェニックスフェスティバル」も実施いたしました。

中越大震災からの復興を願い初めて打ち上げられたフェニックスは、今では全国あらゆる所で発生する震災・災害に傷ついた人々を元気にする存在、まさに「復興のシンボル」として、これからも「フェニックス」打ち上げ続けていかないといけないという使命感を感じ、これからもさらに輪を広げ、ネットワークとして巻き込み、精力的に活動をしていきたいと思っております。

### 3. 重点項目

- (1) 次世代への更なる発信強化
- (2) 情報発信と支援拡大の強化
- (3) 組織の強靱化

### 4. 活動概要

#### (1) 「長岡花火発信事業」～長岡の誇りを次世代に～

戦災や自然災害からの復興を遂げた長岡市。その復興魂から生まれた長岡まつり大花火大会やフェニックス花火を築き上げた先人たちの心を、我々は次代を担う子どもたちに出張授業という形で伝えて参りました。昨年千手小学校との活動を機に、授業から一步踏み出し、体験を通じて更に子どもたちの記憶に残せる経験をいたしました。今年度も更に次世代への伝播を強化して参ります。

##### 【具体的重点事項】

- ・学校での出張授業の拡大（情報発信の強化）
- ・インターネット・SNSなどを活用した情報発信の実施

#### (2) 「花火打上支援事業」～これからも更に情報発信を強化していく～

##### ① フェニックス花火協賛金募金事業

2004年10月23日の新潟県中越大震災からの一日も早い復興を祈願し、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火を打ち上げ実現することができました。

昨年も2回目となる「クラウドファンディング」を実施いたしました。協賛金の拡大につながった以上に、市外県外の多くの方々へ、長岡花火の事、フェニックス花火の事を広く知っていただき、一人でも多くの方々に応援していただいたことが成果となりました。

今年度もクラウドファンディング（CF）の実施をいたします。またCFのみならず、現状のあらゆる募金活動を見直し、発展をまいります。

##### 【具体的重点事項】

- ・クラウドファンディングなど新たな取り組みによる募金の意義の伝播
- ・現状の募金活動の見直しと活動の拡大

## ② 長岡まつり大花火大会フェニックス席の設営・運營業務

長岡まつり大花火大会会場のフェニックス席は、大学生を中心としたボランティアスタッフにより、設営・運営しています。ただ当日の人員としてのボランティアではなく、県内外から集まる学生ボランティアに長岡の誇りである花火とフェニックス花火の想いを広く伝え、当日の活動への協力がフェニックス花火の協賛につながっている事を理解してもらう事に意義があるものと考えております。今年度もIVUSA(国際学生ボランティア協会)、長岡造形大学の学生、そして長岡大学レオクラブの学生を軸とし、多くの若い世代にフェニックス花火の想いを伝えて参ります。そして、フェニックス席以外でのボランティアスタッフの活動も模索し、長岡まつり大花火大会の運営に協力して参ります。

今年の花火大会会場は、全体のレイアウト見直しに合わせ、フェニックス席についても大幅な配置の変更が行われます。作業分担の見直しなど実施し、今年も安全に運営できるよう取り組みます。

### 【具体的重点事項】

- ・ボランティア活動を通じた学生への啓蒙活動の実施
- ・当日のオペレーションの再構築

## (3) 「プロジェクト事業」～事業を通じた地域の活性化への寄与～

長岡には長岡花火をはじめ、歴史、文化、自然、景観、特産物など多くの地域資源を有しております。これらの地域資源を発掘し、光を当てることにより地域の魅力や価値の向上を図り、更なる地域の活性化を目指します。その活動を通じて様々なネットワークを構築し、地域を盛り上げて参りたいと考えます。

本年度も昨年、開催時季と会場を変えたながおか米百俵フェスが実施されます。米フェスを通じた地域活性化に貢献できるよう活動して参ります。

また、昨年度初めて当法人主催のフェニックスフェスティバルを開催いたしました。広く市民にフェニックス花火について啓蒙する機会に、更なる進化を遂げて発展させて参ります。

- ・おもてなし事業（米百俵フェス・長岡まつり大花火大会フェニックス席での飲食ブースの設営）
- ・フェニックスフェスティバルの開催
- ・その他新規事業の模索・検討
- ・フェニックス関連グッズなどの開発販売

(4)「中心市街地活性化事業」(まちなか情報発信事業)

・大型LEDビジョン「まちかどフェニックスビジョン」等を活用した情報発信を行って参ります。(長岡まつり・ホコ天などでの活用、地域企業のPRや商品・イベント情報の発信ツールとしての活用ルートの模索など)

(5)「委託運営・ソリューションサービス事業」

・市民、行政、企業が求めるサービス・事業が多様化する中、様々な問題の解決や要求の実現を行うための事業・活動を行って参ります。